

熱中症を予防しましょう

問合先／健康課(健康福祉会館内) ☎42-8723
FAX42-7521 kenko@city.kasai.lg.jp

熱中症は、気温や湿度が高くなる梅雨入り前から発生し、7月から8月に多発する傾向があります。初夏や梅雨明けなど体が暑さに慣れていない時や、気温が急上昇する時は特に注意が必要です。正しい知識を身に付け、熱中症を予防しましょう。また、周囲の方にも気を配りましょう。

■熱中症予防のポイント

- ・外出時は日陰を利用し、こまめに休憩を。
- ・日傘や帽子の着用、通気性、吸湿性のよい服装を。
- ・のどが渇く前にこまめに水分補給を。
- ・部屋に温度計を置き、室温が28度を超えないようにエアコンや扇風機を使う。
- ・日頃から栄養バランスのよい食事と体力づくりを。
- ・集団活動の場ではお互いに声かけをし体調を考慮する。

■特に注意が必要な方

高齢者／熱中症の方の半数以上は65歳以上の高齢者です。室内で熱中症になることが多いため、室温確認とこまめな水分補給が必要です。

乳幼児／地面に近いほど気温が高くなるため、乳幼児は大人以上に暑い環境にいますので注意してください。また、車内の温度は、短時間で一気に上昇します。わずかな時間でも、車内に子どもだけを残さないでください。

■熱中症の症状

軽症／めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、こむら返り、気分が悪いなど

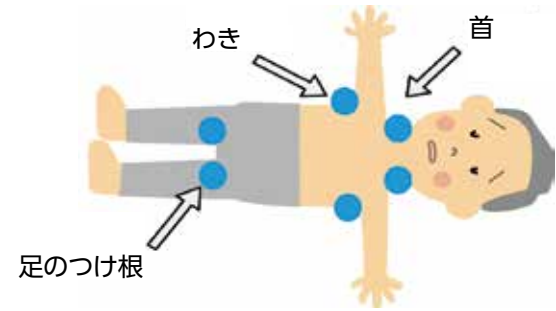
中等症／頭痛、吐き気、倦怠感、意識が何となくおかしいなど

重症／意識がない、けいれん、呼びかけに対し返事がおかしい、まったく歩けない、高体温など

■熱中症になった場合の処置

- ・涼しい場所へ避難させる。
- ・衣服をゆるめ、首の両脇、わきの下、足のつけ根を冷やす。
- ・水分・塩分を補給する。
- ・自力で水が飲めない場合や少しでも様子がおかしい場合は、救急車を要請する。

効果的に体温を下げる場所



日本脳炎予防接種を受けましょう

問合先／健康課(健康福祉会館内) ☎42-8723
FAX42-7521 kenko@city.kasai.lg.jp

日本脳炎は、ウイルスを持つ蚊に刺されることで感染する病気です。蚊が活動する夏には特に注意が必要です。感染すると、100人から1,000人に1人の確率で急性脳症等を起こします。予防接種により感染を防ぎましょう。

■対象者および接種回数

3歳～7歳6カ月未満	1期初回(1週間以上の間隔(1～4週間が望ましい))で2回接種) ※3～4歳が望ましい
	1期追加(1期初回2回目接種から6カ月以上の間隔(1年後が望ましい))で1回接種) ※4～5歳が望ましい
9～13歳未満	2期(追加接種から約5年後に1回接種) ※9～10歳が望ましい
平成8年4月2日～平成19年4月1日生まれの方	特例措置として20歳未満まで接種可能。母子健康手帳の接種記録を確認し、4回接種のうち不足分を接種(接種間隔は医療機関で相談してください)。

■接種医療機関／市内予防接種指定医療機関(市ホームページ参照。電話予約必要)

■接種費用／無料 ■持ち物／母子健康手帳、体温計、健康保険証、予診票(医療機関または健康課にあります)

80歳以上で20本以上自分の歯を保とう

問合先／健康課(健康福祉会館内) ☎42-8723
FAX42-7521 kenko@city.kasai.lg.jp

いつまでもおいしく食事を楽しめるように、日々手入れをして80歳になっても20本以上自分の歯を保とう。これが「8020(はちまるにいまる)運動」です。「8020」を達成されている方を表彰しますので、申し込みください。

表彰には、事前に市内歯科医師会員の各歯科医院または町ぐるみ健診での歯科健診が必要です。申込者には歯科健診の案内を後日郵送します。

■対象／80歳以上(昭和12年4月1日以前生まれ)の方で、自分の歯を20本以上保っている表彰希望者 ※以前に表彰を受けられた方は対象外です。

■募集期間／7月20日(水)まで ■申込先／健康課 ☎42-8723



平成28年度の病院体制

■加西病院の役割

大規模災害が発生した際の、公立病院の使命は、傷病者の治療や被災者の心のケアへの支援に止まらず、通常の医療を提供し続けることも大事な使命です。

そのためには、病院の手術等ができる急性期機能を維持していくこと、多くの診療科を運営していくこと、そして災害が発生した際の対応についての訓練を行い災害に備えることが重要です。

職員一同、地域の皆様の生活の安定を守るために決意を新たにしたところです。

熊本地震で被災された皆さまの、一日も早い生活の安定と地域の復興をお祈りします。

■4月以降の医師の配置

広報かさい5月号でお知らせしたとおり、4月から院長に北嶋直人医師が就任。また、退任された藤田副院長の後任に生田肇診療部長（外科）が就任しました。

新たに、循環器内科部長には小林征一、神経内科部長に横田一郎が着任しています。整形外科では、南埜正五郎医長、吉川智也医員が着任しました。



生田診療部長



小林部長



横田部長

医師の確保には全力であたっていますが、内科3人、神経内科1人、整形外科1人、精神科1人の減員となっています。

外来診療は、外部医師の応援を受けて対応していますが、入院等なにかとご不便をおかけすることがありますが、ご理解とご協力をお願いします。

■医師の確保に向け、情報をお寄せください

医師の確保については、事業管理者以下全職員で対応していますが、なかなか充足に至っていない状況です。

近隣病院では市民からの情報により市出身の医師へ帰郷を働きかけて採用に結びついた事例もあると聞いています。

市民の皆さまから、市外・県外で勤務されている加西市や近隣市町出身の医師の情報をお寄せいただければ、加西病院へ協力してもらえよう、当院からアプローチしていきます。

■地域包括ケア病棟への転棟にご協力を

昨年度から、5階病棟で地域包括ケア病棟の運用を開始しました。急性期を過ぎた後、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さんに対し、入院期間60日を限度として、在宅復帰に向けた支援を目的とした病棟です。

地域包括ケア病棟への入院が必要な場合は、患者さんの病状に応じて主治医が判断し、患者さんご家族の方に提案しますので、転棟にご協力をお願いします。

(加西病院事務局)

第13回加西病院ホスピタルフェア

問合先／加西病院フェア実行委員会 ☎42-2200

「最適な医療 優しい看護 笑顔に出会える加西病院」をテーマに、加西病院を体感することができるホスピタルフェアを開催します。

■日時・場所／7月9日（土）9:00～12:00 加西病院

■主な内容

催し：院長・医師の講演、「ホスピタルバンド」によるコンサート、抽選会、子ども向けイベントなど

医療・介護相談：人間ドック受付、地域連携専門職による医療・介護相談

健康チェック：研修医ふれあい（健康チェック結果説明等）、血圧、血糖、体脂肪、

動脈硬化度、骨密度、内臓脂肪 など ※動脈硬化度のみ1人1回の抽選

※動脈硬化度、骨密度、内臓脂肪測定料金は、それぞれ500円です。

体験コーナー：胎児4Dエコー体験（他院で受診されている妊娠6～8カ月程度の10名）、心肺蘇生法、医療者制服着用体験、腹腔鏡手術模擬体験、感染防止手洗い法、電気メス体験、お菓子で「薬」づくりなど



昨年の講演の様子